

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
1	2021/10/19	NS2-添1-044 (比)	比較表(VI-1-3-2)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-2 燃料取扱設備、新燃料貯蔵設備及び使用済燃料貯蔵設備の核燃料物質が臨界に達しないことに関する説明書)	P.4,P.7	実効増倍率について、大規模漏えい時及び小規模漏えい時の計算結果の数値の丸め方について説明すること。	2022/2/9	本文中の大規模漏えい時の未臨界性評価結果について、小数点第三位を切り上げ処理して有効数字二桁で記載し、小規模漏えい時の評価結果と表示桁を揃えました。また、比較表の備考欄に切り上げ処理した旨を追記しました。	NS2-添1-044改01「VI-1-3-2 燃料取扱設備、新燃料貯蔵設備及び使用済燃料貯蔵設備の核燃料物質が臨界に達しないことに関する説明書」P.4 NS2-添1-044(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-2 燃料取扱設備、新燃料貯蔵設備及び使用済燃料貯蔵設備の核燃料物質が臨界に達しないことに関する説明書)」P.6	
2	2021/10/19	NS2-添1-044 (比)	比較表(VI-1-3-2)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-2 燃料取扱設備、新燃料貯蔵設備及び使用済燃料貯蔵設備の核燃料物質が臨界に達しないことに関する説明書)	P.5	鉛直方向の使用済燃料貯蔵ラックの計算体系について、無限長とすることが保守的な評価となる理由を補足すること。また、燃料集合体上部断面を評価に用いていることを図に示すこと。	2022/2/9	体系外への中性子の漏れがなくなることから、保守的な条件となることを計算条件に追記しました。 また、垂直方向の計算モデルに関する図を補足説明資料に追加しました。	NS2-添1-044改01「VI-1-3-2 燃料取扱設備、新燃料貯蔵設備及び使用済燃料貯蔵設備の核燃料物質が臨界に達しないことに関する説明書」P.3 NS2-補-007改02「工事計画に係る補足説明資料(核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設)」資料No.2のP.2(通し頁P.10)	
3	2021/10/19	NS2-補-007	工事計画に係る説明資料	工事計画に係る説明資料(核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設)	P.30,31	原子炉建物天井クレーンのインターロックの3つのモード(A~Cモード)について、Cモードの範囲を図示すること。	2022/2/9	原子炉建物天井クレーンのインターロック(Cモード)の可動範囲について図3-3を追記しました。	NS2-補-007改02「工事計画に係る説明資料(核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設)」P.5	
4	2021/10/19	NS2-補-007	工事計画に係る説明資料	工事計画に係る説明資料(核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設)	P.30,31	原子炉建物天井クレーンインターロックのモードの切替方法について説明すること。	2022/2/9	原子炉建物天井クレーンのインターロック(A~Cモード)の切替方法について、追記しました。	NS2-補-007改02「工事計画に係る説明資料(核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設)」P.4	
5	2021/10/19	NS2-添1-045 (比)	工事計画に係る説明資料	工事計画に係る説明資料(核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設)	—	重量物の落下防止対策について、落下物の抽出の基準として離隔距離があるならば、その基準を示すこと	2022/2/9	燃料プール手摺の外側にある異物混入防止エアフェンスの外側に設置、保管及び取り扱う設備等を離隔距離が確保できるものとして整理している旨を表4-1の注記(*5)に追記しました。	NS2-添1-045改01「VI-1-3-3 燃料体等又は重量物の落下による使用済燃料貯蔵槽内の燃料体等の破損の防止及び使用済燃料貯蔵槽の機能喪失の防止に関する説明書」P.13,14 NS2-添1-045(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-3 燃料体等又は重量物の落下による使用済燃料貯蔵槽内の燃料体等の破損の防止及び使用済燃料貯蔵槽の機能喪失の防止に関する説明書)」P.19,20	
6	2021/10/19	NS2-添1-045 (比)	比較表(VI-1-3-3)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-3 燃料体等又は重量物の落下による使用済燃料貯蔵槽内の燃料体等の破損の防止及び使用済燃料貯蔵槽の機能喪失の防止に関する説明書)	P.18	重量物の落下防止対策について、離隔対象と固縛対象の考え方及び具体的な落下防止対策並びにそれらの先行審査プラントとの差異を示すこと。	2022/2/9	・離隔対象の考え方についてはコメントNo.5と同様です。 ・固縛対象の考え方については、常設している設備等に対して床や壁面にボルトによる固定又はロープ等による固縛を実施するものを対象としており、その旨を表4-1の注記(*5)に追記しました。 ・先行プラントとは、離隔対象及び固縛対象に差異はありません。また、落下防止対策についても、対策の要否の基準としている落下エネルギー(15.5kJ)が他社も同じであり、対策についても基準地震動Ssに対して落下防止を行うことから差異はありません。	NS2-添1-045改01「VI-1-3-3 燃料体等又は重量物の落下による使用済燃料貯蔵槽内の燃料体等の破損の防止及び使用済燃料貯蔵槽の機能喪失の防止に関する説明書」P.13,14 NS2-添1-045(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-3 燃料体等又は重量物の落下による使用済燃料貯蔵槽内の燃料体等の破損の防止及び使用済燃料貯蔵槽の機能喪失の防止に関する説明書)」P.19,20	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別 目録番号	図書名称	該当頁					
7	2021/10/19	NS2-補-007	工事計画に係る説明資料	工事計画に係る説明資料 (核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設)	P.30,31	原子炉建物天井クレーンの主巻フックと補巻フックの設計の違いについて説明すること。	2022/2/9	3.2に記載のとおり、原子炉建物天井クレーン(主巻フック、補巻フック)は電磁ブレーキのスプリング機構を有しており、フックについても玉掛け用ワイヤロープ等が当該フックから外れることを防止するための装置を設けています。主巻フックと補巻フックの相違点について、使用済燃料輸送容器等重量物を移送する主巻フックは二重のワイヤロープで保持し、定格荷重は125tですが、新燃料等を移送する補巻フックは一重のワイヤロープで保持し、定格荷重は5tです。移送する対象及び定格荷重について記載していなかったため、資料に追記しました。	NS2-添1-045改01「VI-1-3-3 燃料体等又は重量物の落下による使用済燃料貯蔵槽内の燃料体等の破損の防止及び使用済燃料貯蔵槽の機能喪失の防止に関する説明書」P.2	
8	2021/10/19	NS2-補-007	工事計画に係る説明資料	工事計画に係る説明資料 (核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設)	P.35	チャンネル着脱装置の待機時の状態及びチャンネル着脱装置と燃料プールの水深の位置関係について説明すること。	2022/2/9	・チャンネル着脱装置のカートは通常時は燃料プール底部で待機している旨を追記しました。 ・チャンネル着脱装置と燃料プールの水深の位置関係については遮蔽水深として2460mmを確保できる構造となっている旨を追記しました。	NS2-補-007改02「工事計画に係る説明資料 (核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設)」 P.7.9	
9	2021/10/19	NS2-補-007	工事計画に係る説明資料	工事計画に係る説明資料 (核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設)	P.40	ワイヤロープ(グラッブル吊り)が切断し、ワイヤロープ(伸縮管吊り)のみで燃料取替機の伸縮管とグラッブルを吊っている状態になった場合でも、それらの接合部が破損し吊り荷が落下しないことを示すこと。	2022/2/9	グラッブルのナットはグラッブルシャフトにねじ込みで固定されていること、また、伸縮管の底部は複数本のボルトで固定されており、ボルトの引張強さ520N/mm ² に対し、発生応力が小さいことから、衝撃に対し十分な強度を有し、吊り荷及びグラッブルを保持可能な設計としていることを追記しました。	NS2-補-007改02「工事計画に係る説明資料 (核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設)」 P.13,14	
10	2021/11/2	NS2-添1-046 (比)	比較表(VI-1-3-4)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-4 使用済燃料貯蔵槽の冷却能力に関する説明書)	P.5	燃料プールの熱負荷(kw)について、項目間での繋がりがわかるよう明確にすること。	2022/2/9	q: 燃料プールの熱負荷(kw)に注記*「原子炉運転中及び停止中の燃料プールの熱負荷については表3-2及び表3-3に記載」を追記しました。	NS2-添1-046改01「VI-1-3-4 使用済燃料貯蔵槽の冷却能力に関する説明書」P.2	
11	2021/11/2	NS2-添1-046 (比)	比較表(VI-1-3-4)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-4 使用済燃料貯蔵槽の冷却能力に関する説明書)	P.10,11	注記の下限值(48m ³ /h以上)について、可搬型スプレインズル使用時の系統の下限值である旨を明確にすること。	2022/2/9	注記の下限值(48m ³ /h以上)について、燃料プールのスプレイ系(可搬型スプレインズル)による燃料プール注水時の流量である旨を追記しました。	NS2-添1-046改01「VI-1-3-4 使用済燃料貯蔵槽の冷却能力に関する説明書」P.7	
12	2021/11/2	NS2-添1-046 (比)	比較表(VI-1-3-4)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-4 使用済燃料貯蔵槽の冷却能力に関する説明書)	P.15	スプレイ(霧状)に必要な圧力を明確にすること。	2022/2/9	「表3-4 スプレイ試験条件」の項目に「スプレイヘッド(ノズル)必要圧力(霧状)」を追記しました。	NS2-添1-046改01「VI-1-3-4 使用済燃料貯蔵槽の冷却能力に関する説明書」P.8 NS2-添1-046(比)改01「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-4 使用済燃料貯蔵槽の冷却能力に関する説明書)」P.17	
13	2021/11/2	NS2-添1-046 (比)	比較表(VI-1-3-4)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-4 使用済燃料貯蔵槽の冷却能力に関する説明書)	P.17	2炉心分エリアの設定根拠について、説明すること。	2022/2/9	取出し直後の崩壊熱が大きい燃料について、分散配置(市松配置)して保管するため、2炉心分のエリアとする旨を追記しました。	NS2-添1-046改01「VI-1-3-4 使用済燃料貯蔵槽の冷却能力に関する説明書」P.10	
14	2021/11/2	NS2-添1-046 (比)	比較表(VI-1-3-4)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-4 使用済燃料貯蔵槽の冷却能力に関する説明書)	P.16	ラックの位置(凡例)を明確にすること。	2022/2/9	「図3-2 燃料プールにおける可搬型スプレインズルの設置位置とスプレイ分布」に凡例(使用済燃料ラック設置範囲)を追記しました。	NS2-添1-046改01 VI-1-3-4 使用済燃料貯蔵槽の冷却能力に関する説明書」P.9	
15	2021/11/2	NS2-補-007改01	補足説明資料	工事計画に係る説明資料 (核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設)	P.22	高温燃料保管エリアと低温燃料保管エリアを明確にすること。	2022/2/9	「図1-9 燃料プールのスプレイ時のスプレイ分布」に高温燃料域の範囲を記載しました。	NS2-補-007改02「工事計画に係る説明資料 (核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設)」 別1-9	
16	2021/11/2	NS2-補-007改01	補足説明資料	工事計画に係る説明資料 (核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設)	P.20	図1-9(コンター図)のスプレイ分布について、考察すること。	2022/2/9	常設スプレイヘッドはノズル角度やスプレイ範囲の異なる4種類のノズルで構成されており、ノズルの配置や燃料プール壁面まで到達したスプレイ水の跳ね返り等から図1-9に示すような分布になると考える旨を追記しました。	NS2-補-007改02「工事計画に係る説明資料 (核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設)」 別1-9	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別 目録番号	図書名称	該当頁					
17	2021/11/2	NS2-添1-046(比), NS2-添1-047(比)	比較表(VI-1-3-4), 比較表(VI-1-3-5)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-4 使用済燃料貯蔵槽の冷却能力に関する説明書), 先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-5 使用済燃料貯蔵槽の水深の遮蔽能力に関する説明書)	全体	類型化の一覧表を追加すること。	2022/2/9	比較表の1ページ目に類型化の一覧表を追加しました。	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-5 使用済燃料貯蔵槽の水深の遮蔽能力に関する説明書)P.1	
18	2021/11/2	NS2-添1-047(比)	比較表(VI-1-3-5)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-5 使用済燃料貯蔵槽の水深の遮蔽能力に関する説明書)	全体	「燃料プール冷却系戻り配管」について、名称を統一すること。	2022/2/9	「燃料プール冷却系戻り配管」に統一しました。	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-5 使用済燃料貯蔵槽の水深の遮蔽能力に関する説明書)P.5,19,21,22,24	
19	2021/11/2	NS2-添1-047(比), NS2-補-007 改01	比較表(VI-1-3-5), 補足説明資料	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-5 使用済燃料貯蔵槽の水深の遮蔽能力に関する説明書), 工事計画に係る説明資料(核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設)	P.20 P.36	サイフォンブレイク配管設置場所及び燃料プール冷却系戻り配管の位置について、図中で分かりやすく示すこと。	2022/2/9	図5-4の燃料プールの水位低下位置について、燃料プール冷却系戻り配管の水平部下端位置に修正しました。	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-5 使用済燃料貯蔵槽の水深の遮蔽能力に関する説明書)P.21	
20	2021/11/2	NS2-添1-047(比)	比較表(VI-1-3-5)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-5 使用済燃料貯蔵槽の水深の遮蔽能力に関する説明書)	P.8	表4-11について、補説に示している線源強度算出の文献値等を追記すること。	2022/2/9	表4-1に群数番号、線源強度の文献値を追記しました。	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-5 使用済燃料貯蔵槽の水深の遮蔽能力に関する説明書)P.9	
21	2021/11/2	NS2-添1-047(比)	比較表(VI-1-3-5)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-5 使用済燃料貯蔵槽の水深の遮蔽能力に関する説明書)	P.5	使用済制御棒の評価条件について、自己遮蔽効果に関する説明を追記すること。	2022/2/9	使用済制御棒の自己遮蔽効果に関する説明を追記しました。	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-5 使用済燃料貯蔵槽の水深の遮蔽能力に関する説明書)P.6	
22	2021/11/2	NS2-添1-047(比)	比較表(VI-1-3-5)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-5 使用済燃料貯蔵槽の水深の遮蔽能力に関する説明書)	P.5	使用済制御棒貯蔵ラックの保管場所について、補足説明資料に図等を追記すること。	2022/2/9	使用済制御棒貯蔵ラックの保管場所について、補足説明資料の図4-1中に追記しました。	工事計画に係る説明資料(核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設)P.5	
23	2021/11/2	NS2-添1-047(比)	比較表(VI-1-3-5)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-5 使用済燃料貯蔵槽の水深の遮蔽能力に関する説明書)	P.21,22	Ss機能維持要求に関する記載について、先行電力の説明内容と相違なければ、記載を合わせることに。	2022/2/9 今回回答	サイフォンブレイク配管の評価方法の記載について、2022/2/9の回答では、設計上の実力値として「耐震Sクラスとして設計」を行う旨を記載していましたが、サイフォンブレイク配管はSA設備であり、誤解を生む表現であったため、以下のとおり修正します。(下線部参照) (旧)燃料プール冷却系戻り配管は耐震Sクラスで設計されており、その配管にサイフォンブレイク配管を接続しサイフォンブレイク配管も耐震Sクラスとして設計を行い耐震性について問題ないことを確認する。 (新)サイフォンブレイク配管は、常設耐震重要重大事故防止設備及び常設重大事故緩和設備に該当するため、基準地震動Ssによる地震力に対して、重大事故等に対処するために必要な機能が損なわれるおそれがない設計とする。 なお、サイフォンブレイク配管は、耐震Sクラスで設計されている燃料プール冷却系戻り配管の逆止弁に接続されるため、耐震Sクラスとして耐震性について問題ないことを確認した。 上記の評価方法の記載の修正に合わせて、「6.1.2 評価結果」の表6-3IにⅢ _s S、IV _s Sの評価結果の記載を追記しました。Ⅲ _s S、IV _s Sの評価結果の記載に伴い、注記が不要となることから削除しました。 また、図6-1の最大応力点における「許容応力状態V _s S」の記載を削除、適正化をしました。	NS2-添1-047改02「VI-1-3-5 使用済燃料貯蔵槽の水深の遮蔽能力に関する説明書」P.13,15 NS2-添1-047改02(比)「先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-5 使用済燃料貯蔵槽の水深の遮蔽能力に関する説明書)」P.22~24	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別 目録番号	図書名称	該当頁					
24	2021/11/2	NS2-添1-047(比)	比較表(VI-1-3-5)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-5 使用済燃料貯蔵槽の水深の遮蔽能力に関する説明書)	P.19	「配管破断による…」の「配管」について説明すること。	2022/2/9	配管破断を想定する系統名称を追記し、「燃料プール冷却系配管配管破断による通常水位からの水位低下」に修正しました。	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-5 使用済燃料貯蔵槽の水深の遮蔽能力に関する説明書)P.19, 20	
25	2021/11/2	NS2-補-007改01	補足説明資料	工事計画に係る説明資料(核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設)	P.16	流量の単位について、1時間当たりとわかるよう記載を適正化すること。	2022/2/9	単位を“m3/h”に修正しました。	NS2-補-007改02「工事計画に係る説明資料(核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設)」P.別1-3	
26	2022/2/15	NS2-補-007改02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設)	P.41,42	図と文書で使用している用語について、統一するよう検討すること。	今回回答	「ワイヤロープ」の記載について、図6-1の記載に合わせて「ワイヤロープ(グラッフル側)」と「ワイヤロープ(伸縮管側)」に修正しました。	NS2-補-007改04「工事計画に係る補足説明資料(核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設)」資料No.3 P.13~15(通し頁P.19~21)	
27	2022/2/15	NS2-補-007改02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設)	P.74	3.65炉心分うち2炉心分の範囲に高温燃料を保管することについて、記載を検討すること。	今回回答	3.65炉心分のうち2炉心分の範囲に高温燃料を分散配置(市松配置)し保管する旨を追記しました。	NS2-補-007改04「工事計画に係る補足説明資料(核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設)」資料No.4 P.別1-8,別1-9(通し頁P.51,52)	
28	2022/2/15	NS2-補-007改02	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設)	P.74	キャスク置場を明確にすること。また、スプレイ範囲の記載について、補足を検討すること。	今回回答	図1-9にキャスク置場を明記するとともに、スプレイの分布について補足を追記しました。	NS2-補-007改04「工事計画に係る補足説明資料(核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設)」資料No.4 P.別1-9(通し頁P.52)	
29	2022/2/15	NS2-添1-047(比)改01	比較表(VI-1-3-5)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-5 使用済燃料貯蔵槽の水深の遮蔽能力に関する説明書)	P.1	制御棒貯蔵ラックを評価対象外とした理由について、補足説明資料への追記を検討すること。	今回回答	制御棒貯蔵ラックについては、使用済燃料と比べて線源強度が大幅に小さく、被ばく線量に与える影響は無視できる程度に小さいと考えられるため、評価対象外としている旨を補足説明資料中に追記しました。また、本修正に伴って、注釈の番号が変わるものについて併せて修正しました。	NS2-補-007改04「工事計画に係る補足説明資料(核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設)」資料No.5 P.5,7,10(通し頁P.69,71,74)	
30	2022/2/15	NS2-補-031	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(計算機プログラム(解析コード)の概要)	P.3	解析コードの区分A~Eの分類について、各解析コードに対してリスト上で記載可能か検討すること。	今回回答	解析コードのフロー区分A~Eの分類について、補足説明資料の解析コードリストへ新たに項目を追加し、整理しました。	NS2-補-031改06「工事計画に係る補足説明資料(計算機プログラム(解析コード)の概要)」P.3	

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設)

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
1	NS2-添1-044改01	VI-1-3-2 燃料取扱設備, 新燃料貯蔵設備及び使用済燃料貯蔵設備の核燃料物質が臨界に達しないことに関する説明書	P.1	鍵括弧の位置を適正化しました。(下線部参照) (旧)「実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則(以下「技術基準規則」という。)」 (新)「実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則」(以下「技術基準規則」という。)	2022/2/9	
2	NS2-添1-044改01	VI-1-3-2 燃料取扱設備, 新燃料貯蔵設備及び使用済燃料貯蔵設備の核燃料物質が臨界に達しないことに関する説明書	P.1	鍵括弧の位置を適正化しました。(下線部参照) (旧)「実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈(以下「解釈」という。)」 (新)「実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈」(以下「解釈」という。)	2022/2/9	
3	NS2-添1-044改01	VI-1-3-2 燃料取扱設備, 新燃料貯蔵設備及び使用済燃料貯蔵設備の核燃料物質が臨界に達しないことに関する説明書	P.1	技術基準規則第26条の要求事項について、何からの変更なのかを明確にするため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)なお、技術基準規則第26条の要求事項に変更がないため、 (新)なお、技術基準規則第26条の要求事項は「 <u>発電用原子力設備に関する技術基準を定める省令(昭和40年6月15日通商産業省令第62号)</u> 」における要求事項から変更がないため、	2022/2/9	
4	NS2-添1-044(比)改01	先行審査プラントの記載との比較表 (VI-1-3-2 燃料取扱設備, 新燃料貯蔵設備及び使用済燃料貯蔵設備の核燃料物質が臨界に達しないことに関する説明書)	P.1	計算機プログラム(解析コード)に関する比較に関して、先行プラントと相違がない旨を備考欄に追記しました。	2022/2/9	
5	NS2-添1-045改01	VI-1-3-3 燃料体等又は重量物の落下による使用済燃料貯蔵槽内の燃料体等の破損の防止及び使用済燃料貯蔵槽の機能喪失の防止に関する説明書	P.3	比較表の備考欄に記載していた燃料体等が漏えい検知溝上に落下した場合の影響評価について、本文に追記しました。 <追加> 燃料体等が漏えい検知溝上に落下した場合の影響評価については、添付に示す。	2022/2/9	
6	NS2-添1-045改01	VI-1-3-3 燃料体等又は重量物の落下による使用済燃料貯蔵槽内の燃料体等の破損の防止及び使用済燃料貯蔵槽の機能喪失の防止に関する説明書	P.5	グラップルにおけるハンドルと着座検出板の位置関係を”図3-1 グラップルの空気源喪失時にも燃料体等をつかむ構造”に図示しました。	2022/2/9	
7	NS2-添1-045 改01	VI-1-3-3 燃料体等又は重量物の落下による使用済燃料貯蔵槽内の燃料体等の破損の防止及び使用済燃料貯蔵槽の機能喪失の防止に関する説明書	P.13	”表4-1”のうち、③の記載について、誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)作業計画 (新)作業実績	2022/2/9	
8	NS2-添1-045改01	VI-1-3-3 燃料体等又は重量物の落下による使用済燃料貯蔵槽内の燃料体等の破損の防止及び使用済燃料貯蔵槽の機能喪失の防止に関する説明書	P.13,14	”表4-1 重量物の抽出結果及び落下防止対策”のうち、落下エネルギーの評価を省略している設備について、注釈を追加しました。 <追加> *4: 当該番号に分類する全ての設備が隔離出来ていることを確認していることから、落下エネルギーの評価は省略している。	2022/2/9	
9	NS2-添1-045(比)改01	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-3 燃料体等又は重量物の落下による使用済燃料貯蔵槽内の燃料体等の破損の防止及び使用済燃料貯蔵槽の機能喪失の防止に関する説明書)	P.1	類型化の一覧表を追加しました。	2022/2/9	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
10	NS2-添1-045(比)改01	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-3 燃料体等又は重量物の落下による使用済燃料貯蔵槽内の燃料体等の破損の防止及び使用済燃料貯蔵槽の機能喪失の防止に関する説明書)	P.2	備考の記載について、具体的な記載となるよう適正化を行いました。 (旧)燃料取扱設備の相違 (新)島根2号機では、使用済燃料乾式貯蔵設備を施設しない	2022/2/9	
11	NS2-添1-045(比)改01	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-3 燃料体等又は重量物の落下による使用済燃料貯蔵槽内の燃料体等の破損の防止及び使用済燃料貯蔵槽の機能喪失の防止に関する説明書)	P.5	備考の記載について、適正化を行いました。(下線部参照) (旧)落下防止設計の相違(以下②の相違) (新)落下防止設計の相違	2022/2/9	
12	NS2-添1-045(比)改01	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-3 燃料体等又は重量物の落下による使用済燃料貯蔵槽内の燃料体等の破損の防止及び使用済燃料貯蔵槽の機能喪失の防止に関する説明書)	P.8	”表3-1 燃料体等の落下防止対策”の備考について、記載を追加しました。 <追加> 【東海第二】 設備の相違に伴う落下防止対策の相違	2022/2/9	
13	NS2-添1-045(比)改01	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-3 燃料体等又は重量物の落下による使用済燃料貯蔵槽内の燃料体等の破損の防止及び使用済燃料貯蔵槽の機能喪失の防止に関する説明書)	P.13	備考の記載について、適正化を行いました。(下線部参照) (旧)②の相違 (新)落下防止設計の相違	2022/2/9	
14	NS2-添1-045(比)改01	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-3 燃料体等又は重量物の落下による使用済燃料貯蔵槽内の燃料体等の破損の防止及び使用済燃料貯蔵槽の機能喪失の防止に関する説明書)	P.14	”図3-6 原子炉建物天井クレーンのインターロック(Bモード)による重量物移送範囲”のうち、下線及び備考について、記載の追加を行いました。 <追加> ・設備の相違 【東海第二、柏崎7】 設備の相違に伴う重量物移送範囲の相違	2022/2/9	
15	NS2-添1-045(比)改01	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-3 燃料体等又は重量物の落下による使用済燃料貯蔵槽内の燃料体等の破損の防止及び使用済燃料貯蔵槽の機能喪失の防止に関する説明書)	P.15	”図3-7 原子炉建物天井クレーンのインターロック(Aモード)による使用済燃料輸送容器移送範囲”のうち、下線及び備考について、記載の追加を行いました。 <追加> ・設備の相違 【東海第二、柏崎7】 設備の相違に伴う使用済燃料輸送容器移送範囲の相違	2022/2/9	
16	NS2-添1-045(比)改01	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-3 燃料体等又は重量物の落下による使用済燃料貯蔵槽内の燃料体等の破損の防止及び使用済燃料貯蔵槽の機能喪失の防止に関する説明書)	P.18	”図4-1”のうち、③の記載について、誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)作業計画 (新)作業実績	2022/2/9	
17	NS2-添1-045(比)改01	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-3 燃料体等又は重量物の落下による使用済燃料貯蔵槽内の燃料体等の破損の防止及び使用済燃料貯蔵槽の機能喪失の防止に関する説明書)	P.19	”表4-1 重量物の抽出結果及び落下防止対策”の備考について、記載の追加を行いました。 <追加> 【東海第二、柏崎7】 設備の相違に伴う重量物の抽出結果及び落下防止対策の相違	2022/2/9	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
18	NS2-添1-045(比)改01	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-3 燃料体等又は重量物の落下による使用済燃料貯蔵槽内の燃料体等の破損の防止及び使用済燃料貯蔵槽の機能喪失の防止に関する説明書)	P.22	“図4-2 原子炉建物屋根評価モデル”の下線及び備考について、記載の追加を行いました。 <追加> ・設備の相違 【東海第二、柏崎7】 設備の相違に伴う原子炉建物屋根評価モデルの相違	2022/2/9	
19	NS2-添1-045(比)改01	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-3 燃料体等又は重量物の落下による使用済燃料貯蔵槽内の燃料体等の破損の防止及び使用済燃料貯蔵槽の機能喪失の防止に関する説明書)	P.23,24	“図4-3、図4-4”の下線及び備考について、記載を追加しました。 <追加> ・設備の相違 【東海第二、柏崎7】	2022/2/9	
20	NS2-添1-045(比)改01	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-3 燃料体等又は重量物の落下による使用済燃料貯蔵槽内の燃料体等の破損の防止及び使用済燃料貯蔵槽の機能喪失の防止に関する説明書)	P.22,23	想定される最大荷重を備考欄に追記しました。 <追加> 島根2号機の燃料取替機における、想定される最大荷重は約310kg(燃料)である	2022/2/9	
21	NS2-添1-045(比)改01	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-3 燃料体等又は重量物の落下による使用済燃料貯蔵槽内の燃料体等の破損の防止及び使用済燃料貯蔵槽の機能喪失の防止に関する説明書)	P.26	“図5-3 燃料集合体及びブラックの関係図”の備考について、記載の適正化を行いました。 <追加> 【東海第二、柏崎7】	2022/2/9	
22	NS2-添1-046改01	VI-1-3-4 使用済燃料貯蔵槽の冷却能力に関する説明書	P.3	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)燃料取替対数 (新)燃料取替体数	2022/2/9	
23	NS2-添1-046改01	VI-1-3-4 使用済燃料貯蔵槽の冷却能力に関する説明書	P.7	資料内の表現の統一のため、以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)燃料プールに接続する配管の損傷 (新)燃料プールに接続する配管の破断	2022/2/9	
24	NS2-添1-046(比)改01	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-4 使用済燃料貯蔵槽の冷却能力に関する説明書)	P.2	解析コードについて、先行と相違がないことを備考欄に追記しました。 <追加> なお、使用する計算機プログラム(解析コード)に相違はない	2022/2/9	
25	NS2-添1-046(比)改01	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-4 使用済燃料貯蔵槽の冷却能力に関する説明書)	P.10	崩壊熱の評価においては、保守的に崩壊熱が発生しない新燃料のスペースを考慮していない旨を追記しました。(下線部参照) (旧)“*3”について、島根2号機は、崩壊熱の評価において、1取替分の新燃料のスペースを考慮していない (新)“*3”について、島根2号機は、崩壊熱の評価においては、保守的に崩壊熱が発生しない新燃料のスペースを考慮していない	2022/2/9	
26	NS2-添1-046(比)改01	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-4 使用済燃料貯蔵槽の冷却能力に関する説明書)	P.11,12	小数点の桁数(処理方法)について、備考に記載しました。 <追加> (表中における数値の処理方法について) 各サイクルにおける崩壊熱(MW)は小数点第四位を切り上げて記載している。 崩壊熱(MW)の合計については、各サイクルにおける崩壊熱(MW)の生値を合計したうえで、小数点第四位を切り上げて記載している	2022/2/9	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
27	NS2-添1-046(比)改01	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-4 使用済燃料貯蔵槽の冷却能力に関する説明書)	P.12,13	燃料プール水の蒸発量について、設置(変更)許可申請ではMOX燃料及び1号燃料も考慮した崩壊熱より、 $11.4\text{m}^3/\text{h}$ としていましたが、本申請では、MOX燃料及び1号燃料を申請しないことから2号燃料のみを考慮した $11.3\text{m}^3/\text{h}$ としている旨を備考に記載しました。 <追加> (燃料プール水の蒸発量について) 設置(変更)許可申請においてはMOX燃料及び1号燃料も考慮した崩壊熱より、 $11.4\text{m}^3/\text{h}$ としていたが、本申請では、MOX燃料及び1号燃料を申請しないことから2号燃料のみを考慮した $11.3\text{m}^3/\text{h}$ としている	2022/2/9	
28	NS2-添1-047(比)改01	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-5 使用済燃料貯蔵槽の水深の遮蔽能力に関する説明書)	P.6	使用済燃料プールの貯蔵容量について追記しました。(下線部参照) (旧)貯蔵容量分 (新)貯蔵容量分(3518体)	2022/2/9	
29	NS2-添1-047(比)改01	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-5 使用済燃料貯蔵槽の水深の遮蔽能力に関する説明書)	P.6	使用済燃料プールの貯蔵容量及び使用済燃料有効部体積について相違理由を備考欄に追記しました。	2022/2/9	
30	NS2-添1-047(比)改01	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-5 使用済燃料貯蔵槽の水深の遮蔽能力に関する説明書)	P.6	島根2号機において使用済制御棒貯蔵ラックを評価対象としない理由について記載を適正化しました。	2022/2/9	
31	NS2-添1-047(比)改01	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-5 使用済燃料貯蔵槽の水深の遮蔽能力に関する説明書)	P.8	燃料集合体1体あたりの熱出力について誤記を修正しました。 (旧)約4.35MW (新)4.35MW	2022/2/9	
32	NS2-添1-047(比)改01	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-5 使用済燃料貯蔵槽の水深の遮蔽能力に関する説明書)	P.9	表4-1 使用済燃料の線源強度の評価結果の相違理由について備考欄に追記しました。	2022/2/9	
33	NS2-添1-047(比)改01	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-5 使用済燃料貯蔵槽の水深の遮蔽能力に関する説明書)	P.14,18,19	設備名称を適正化しました。(下線部参照) (旧)燃料取替機床面 (新)燃料取替機台車床	2022/2/9	
34	NS2-添1-047(比)改01	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-5 使用済燃料貯蔵槽の水深の遮蔽能力に関する説明書)	P.19	必要水遮蔽厚以下まで水位低下する期間の相違理由について備考欄に追記しました。	2022/2/9	
35	NS2-添1-047(比)改01	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-3-5 使用済燃料貯蔵槽の水深の遮蔽能力に関する説明書)	P.21	図5-5 サイフォンブレイク配管の設置位置の図についてわかりやすくするため、以下について修正しました。 ・丸の凡例が表す内容を修正しました。(下線部参照) (旧)サイフォンブレイク配管設置場所 (新)サイフォンブレイク配管吸気位置 ・図5-5中にサイフォンブレイク配管を記入しました。	2022/2/9	
36	NS2-補-007改02	工事計画に係る補足説明資料(核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設)	P.10	資料内の表現の統一のため、以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)本評価の計算モデルは、～中性子の漏れが無い保守的な条件としており、 (新)本評価の計算モデルは、～中性子の漏れがない保守的な条件としており、	2022/2/9	
37	NS2-補-007改02	工事計画に係る補足説明資料(核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設)	P.10	より分かりやすい表現とするため、以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)燃料集合体が配置されない空間を含めた (新)燃料集合体が配置されていない空間を含めた	2022/2/9	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
38	NS2-補-007改02	工事計画に係る補足説明資料(核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設)	P.23	資料内の表現の統一のため、以下の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧) ¹⁰ B1個あたりの (新) ¹⁰ B原子1個あたりの	2022/2/9	
39	NS2-補-007改02	工事計画に係る補足説明資料(核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設)	P.30	図名称について、適正化を行いました。(下線部参照) (旧)図2-1 取替機待機場所 (新)図2-1 燃料取替機待機場所	2022/2/9	
40	NS2-補-007改02	工事計画に係る補足説明資料(核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設)	P.32,33	"図3-3 原子炉建物天井クレーンのインターロック(Cモード)による移送範囲"の追加に伴い、図番号を修正しました。	2022/2/9	
41	NS2-補-007改02	工事計画に係る補足説明資料(核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設)	P.66	"表1-1 スプレイト験条件"のうち、スプレイト達距離について、誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)飛距離 16m (新)飛距離 18m	2022/2/9	
42	NS2-補-007改02	工事計画に係る補足説明資料(核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設)	P.66	"表1-1 スプレイト験条件"の項目に「スプレイトヘッド(ノズル)必要圧力(霧状)」を追記しました。	2022/2/9	
43	NS2-補-007改02	工事計画に係る補足説明資料(核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設)	P.70	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)高温燃料領域 (新)高温燃料域	2022/2/9	
44	NS2-補-007改02	工事計画に係る補足説明資料(核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設)	P.70	熱出力の数値について記載の適正化を行いました。	2022/2/9	
45	NS2-補-007改02	工事計画に係る補足説明資料(核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設)	P.71,72,74	記載を $\text{L}/\text{min}/\text{m}^2$ に統一しました。(下線部参照) (旧) $\text{L}/\text{min}/\text{m}^2$ (新) $\text{L}/\text{min}/\text{m}^2$	2022/2/9	
46	NS2-補-007改02	工事計画に係る補足説明資料(核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設)	P.74	記載の適正化を行いました。(下線部参照) (旧)スプレイト流量:2,000 L/min (新)スプレイト流量:2000 L/min	2022/2/9	
47	NS2-補-007改02	工事計画に係る補足説明資料(核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設)	P.83	誤記を修正しました。 (旧)第3-4図 (新)図3-4	2022/2/9	
48	NS2-補-007改02	工事計画に係る補足説明資料(核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設)	P.88	図1-3 サイフォンブレイク配管の設置場所の図についてわかりやすくするため、以下について修正しました。 ・丸の凡例が表す内容を修正しました。(下線部参照) (旧)サイフォンブレイク配管設置場所 (新)サイフォンブレイク配管吸気位置 ・図5-5中にサイフォンブレイク配管を記入しました。	2022/2/9	
49	NS2-補-007改02	工事計画に係る補足説明資料(核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設)	P.91,92,93,96,97	設備名称を適正化しました。(下線部参照) (旧)使用済燃料有効部上端 燃料有効長頂部 (新)燃料棒有効長頂部	2022/2/9	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
50	NS2-補-007改02	工事計画に係る補足説明資料(核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設)	P.92,93,99	設備名称を適正化しました。(下線部参照) (旧)燃料取替機上 (新)燃料取替機台車床	2022/2/9	
51	NS2-補-007改02	工事計画に係る補足説明資料(核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設)	P.99	燃料集合体1体あたりの熱出力について誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)4.4MW (新)4.35MW	2022/2/9	
52	NS2-補-007改02	工事計画に係る補足説明資料(核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設)	P.99	文献値について注記番号を追記しました。(下線部参照) (旧)文献値 (新)文献値 ^{*1*2}	2022/2/9	
53	NS2-補-007改02	工事計画に係る補足説明資料(核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設)	P.101	注記*1について文献値からの内挿であることを追記しました。(下線部参照) (旧)*1:Blizard・・・London,1962” (新)*1:Blizard・・・London,1962”TABLE 8A.1より内挿	2022/2/9	
54	NS2-添1-045改02	VI-1-3-3 燃料体等又は重量物の落下による使用済燃料貯蔵槽内の燃料体等の破損の防止及び使用済燃料貯蔵槽の機能喪失の防止に関する説明書	P.9	設備名称を適正化しました。	2022/5/12	
55	NS2-添1-045改02	VI-1-3-3 燃料体等又は重量物の落下による使用済燃料貯蔵槽内の燃料体等の破損の防止及び使用済燃料貯蔵槽の機能喪失の防止に関する説明書	P.23,24,26,29	重力加速度の記号をgに統一しました。(下線部参照) (旧)g (新)g	2022/5/12	
56	NS2-補-007改04	工事計画に係る補足説明資料(核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設)	P.12,14	設備名称を適正化しました。	2022/5/12	
57	NS2-補-007改04	工事計画に係る補足説明資料(核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設)	P.15	設備名称を適正化しました。	2022/5/12	
58	NS2-補-007改04	工事計画に係る補足説明資料(核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設)	P.64	目次の5.のページ番号について誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)5.使用済燃料の線源強度の比較について……12 (新)5.使用済燃料の線源強度の比較について……13	2022/5/12	
59	NS2-補-031改06	工事計画に係る補足説明資料(計算機プログラム(解析コード)の概要)	P.2	表のタイトルを追記しました。 「表1 区分フローの結果が得られた作成する添付書類等」	2022/5/12	